

支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開
若い世代の育成に全力をさげる
都民代表:吉田つとむ(町田市議)

＜編集発行＞

支持政党なし TOKYO
〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



インターンシッ好評
若者育成・就業支援

オリンピック開催の余裕はない、聖火リレーに受け入れ反対表明の県が出てくる

支持政党なし TOKYO 自治宣言

島根県の丸山知事が、同県内での聖火リレーの中止を検討していると表明したことにより、大きな反動といいくつかの共感が起きています。私は、丸山知事の発言には一定の共感を持つものです。隣接する鳥取県の平井知事も理解を示す意見を述べています。

翻って、1964年の東京オリンピックの聖火リレーは、全土で一体感がありました。今はどうかと言うと、地方と首都圏の豊かさの差異が誰の目にも明らかになっています。あるいは、株が高騰しても、実体経済は相変わらず浮揚することは無いということを大半の人が承知しています。聖火リレーが県内を通り抜け、終着点の東京に集中することが、絶えず、若者を東京が吸収していくことと照らし合わせになっていると思います。今後、万博を控える大阪や、震災復興の拠点になった宮城県とは、日本の大半の県の想いは異なるのでしょうか。

それに思いが及ばない都会人、あるいは政治家の意図は、日本全土には簡単に通じません。



島根県のHPより転載：知事の懇談のようす

オリンピック⑤会長に橋本聖子参議院議員

オリ・パラ委員会の森会長が女性差別発言により辞職。辞職する森会長が、後継者を指名するのはおかしいとして川淵元Jリーグチェアマンはそれを辞退しました。最初は、これ以上の人物はいないとマスメディアが持て囃したのですが、一夜にして川淵氏は引き下がる形になりました。密室で会長が決まるのは不当だという単純な経過で振り出しに戻りました。



その後、御手洗富士夫経団連名誉会長を委員長とする選考委員会が作られますが、だれが決めたか委員名は公表されないとされました。実際には開催場所も委員も全メディアに知られた中で選考なるものが進められました。その背景には、橋本聖子担当大臣を官邸が推している話で進められ、選考委員会がどのような役割を果たすかも不明な中で、橋本聖子会長が誕生しました。そのことによって、「女性差別」の問題性は東京オリンピック大会では、一掃されるだろうという予測になりました。あわせて、オリ担当大臣が再登板の丸川珠代参議院議員が決まったことで、「性差別」の議論のその本質性は除いて形で、過去の話とされるのではないでしょうか。

この事態によって、東京オリ・パラ大会はそれが開催できるか、できないかという段階に迫ってきました。

- ★「支持政党なし TOKYO」は、支持政党を持たない、持ちたくない人の意見を代弁します。
- ★「良識ある保守主義」は、権威を否定し、柔らかい思考にもとづいて議論をする立場です。

支持政党なし TOKYO

良識ある保守主義・情報公開
若い世代の育成に全力をささげる
都民代表:吉田つとむ(町田市議)



ブログ 個人HP



メールは
左記を読み
して送信



インターン生募集中
社会見学・体験勉強

インターンシップ参加世代②

旧来から、インターンシップは大学生で就活前の時期設定が前提で行われていました。当初は、3年生がメインでした。つまり、就活の「プレ」というイメージが定着しているわけです。他方で、1年生からの参加は大学では体験できない、全く別の分野に入り込んでみたいという発想があつてのかかわりです。結果的に、就業分野の選択が他とは著しく、あるいはかなり異なり、創業や国家公務員という選択肢がこれまでに見られました。

また、1年女子の参加者では世界的なスケールでビジネスに世界に躊躇なく進めるのが特徴とみられ、一般に言われる安定志向とは真逆の仕事にかかわりたいという心理が働いているようです。10年後当たりにどのような活躍をしてくれるかが非常に楽しみです。とりわけ、こうした参加者はバイリンガルであることが特徴ですが、それは特殊な才能として備わっているのではなく、ごく普通に生活のある状態の様相でした。私には、ただただ、ため息が出るほどのものでした。



インターン生とAO大学入試

高校生もインターンシップに参加しました。就活に備えるわけではなく、大学入試でAO入試に挑戦するのが目的というものでした。AO入試というものは、通常の学力試験のみで合否を判定するのではなく、高等学校における成績や小論文、面接など重視して、入試の合否判定をする入試制度です。通常の学力試験の時期より、かなり早い時期に入試が設定されており、受験生にとっては、前年中に結果を出せ、苦難の時期が短くて済むわけでしょう。少なからぬ人数の高校生がこの、AO入試に取り組んでいるようです。



大学受験を大学が作った学力試験で受けるのではなく、課題を自ら設定した小論文を作成し、その出来映えで評価を受けるというものでした。課題を設定するのに、地方議員が課題とする中から選別し、本人が調査をして、自分の解決方法を見出そうというものでした。私もこうした普段の取り組みが、入試課題に対応できるものであるなら、ぜひ、協力したいと思っています。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、多数の体験者が実社会で活躍中。

★ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

●昨年春以降の研修では、特別の記念撮影を除いて、行動中は全てマスクをかけています。